友垣よ

練馬区立石神井西中学校だより
令和五年十月十日　第八号
校長　井上貴雅

進路選択は中学生としての集大成

今年も師走を迎え、本校では一昨日は1、2年生によるダンス発表会がありました。楽しそうに演技する姿が印象的で、とても素敵でした。また、三者面談も先週まで行われました。保護者の皆さまとは通年様々な行事等を通してご協力をいただいておりますが、お忙しい中お時間をいただき本当にありがとうございました。特に3年生にとっては進路についての大切な機会となりました。一人一人が充実したときを過ごしながら、卒業を迎えられるよう教職員一同、これからも支援して参ります。

さて、多様な個性あふれる現在社会に対応するため、中学生の進路も多様化しており、進路選択はとても難しくなってきています。実際の進路先を選ぶ上で大切だと思うことをあらためて伝えようと思います。

1　目指す学校像「自己実現を達成する」とは？

本校の学校経営計画の中にある目指す学校像に「教職員、保護者及び地域が一体となり、生徒の自己実現を達成させる学校」があります。これは、義務教育の最終段階である中学校において、「自己実現を達成する」ことが最も重要であると私は考えているからです。では「自己実現を達成する」とはどういうことか。これは、「自分で進路選択ができる」ことに尽きると考えます。自分で進路が選択できるということは、①進路先でやりたいことが決まっている、②将来の夢や希望がもてている、③自分の適性や実力が把握できている、④自分の努力すべき目標がはっきりしている…等々、進路を主体的にとらえ、様々な思考を通して判断を下していると言えます。あとはこれらを自分の言葉で表現できれば、周囲の大人も「自己実現」できているということが分かります。こうして自分の力を最大限発揮でき、能力を伸ばせる進路選択ができればいいのですが、実際の「進路先を選ぶ」という作業が意外と難しいのが現状です。

2　多種多様な進路が待ち受けている

現在は以前と比べものにならないくらい、生徒のニーズに応えるべく様々なタイプの学校等があります。乱暴な言い方ですが、以前は学校に入学したら、その学校に生徒が合わせるという実態があったと思いますが、今は生徒の様々な特性に合わせた多種多様な進路先（学校とは限らず）があります。中学生の主な進路先である都立高校も「都立高校改革」の下に様々なタイプの学校が次々と開校して現在の形になっています。学科は普通科、専門学科だけでなく、総合学科があります。課程別では全日制、定時制、通信制と大枠は変わりませんが、昼夜間定時制という新たな枠組みが登場しました。学校別にみると、進学指導重点校をはじめエンカレッジスクールやチャレンジスクール、普通科でも通常の学年制の学校もあれば単位制もあります。学校を選ぼうとするとき、普通科単位制と総合学科の違いも意外と難しいかもしれません。ここでは一つ一つ解説はできないのですが、中学校で達成した自己実現をさらに進めるために適した進路先はどこなのか…これを見つけることが教科の受験勉強と同様に、いやむしろそれ以上に難しいと言えます。

3　最後は自身の進路選択を信じて挑戦するのみ！！

今、3年生の諸君と面接をしています。その中で多くの生徒が上記の①～④についておおむね答えることができています。そして、適切な学校を数校選び、その後、学校説明会、文化祭や体験入学など、実際に学校へ行ってみて、目で見て耳で聞いて自分の感じ取った印象から志望校を決定しています。学校を肌で感じることはとっても大事です。中学生の自己実現は、結果としては進路先を決定して達成と言えますが、そこに至るまでの三年間の過ごし方は人それぞれです。今までの全ての場面が血となり肉となり、自己実現に向けて欠けてはならない皆さんの力となっています。中学生として様々な壁にぶつかり、自分を磨き、自分をしっかり見つめ、自分がどういう特徴をもっているのかを把握して、自身に合ったそれぞれの進路を、時間をかけて選んだはず…あとは挑戦するのみです！自信をもって臨め！3年生！